

## ○ 今月のみことば

O. H

「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない  
神の業がこの人に現れるためである。」

(ヨハネ 9 章 3 節)

平成 12 年度 (2000 年) から 37 回生と始めた、高 3 選択授業・『キリスト教人間学』が、カリキュラム改編に伴い今年度末で終了した。毎年、前半は“人生の節目における実存的課題”を中心に、後半はより良く毎日を生きるために、メメント・モリ・“人の死、とりわけ自らの死について深める『死生学』”をテーマに学んできた。

今日の学校教育においては、とにかく早く、正確に記憶し、問題解決につなげることが最優先され、とにかく親も私たち教員も、生徒たちに“早く！早く！”と急がすことが多くなる。それは本来、“分かりたい、早く分かったつもりになって安心したい”という人間の特性から考えて致し方ないことかもしれない。しかし、人生にはすぐに解決できない問題の方がずっと多いものだ。学校や塾の課題のように、少し難解ではあっても“常に正解が出るもの”とは異なるタイプの問いかけ。

- ・「どうして私はこんな家に生まれてきたのだろう！？」
- ・「どうして私はこんな容姿、性格なのだろう！？」
- ・「どうしてこの私が受験に失敗しなければならないのだろう！？」
- ・「どうして私がこんな苦しみ、悩みに苛まれなければならないのだろう！？」
- ・「どうして私がこんな病気に！？」等々。そしてその究極の『どうして！？』は
- ・『もっと生きていきたいのに、どうしてこの私が死ななければならないのか！？』  
といった問いだろうか。

私自身、かつて悩みの中で、聖書に納得のいく答えを探し求めたことがある。しかしすっきりと心に響く“み言葉”と出会うことはなかった。ただそのとき、支えとなり、力づけられたのは、イエスご自身が身をもって歩まれた、その“貧しさの中での誕生から、痛々しい受難、そして十字架上の死に向かう生涯そのもの”であった。すべての人のために苦しみぬかれたイエスの姿だけが一つの答え・希望であった。

『キリスト教人間学』、とりわけ『死生学』を通して、生徒たちに伝えたかった大切なメッセージは『人生にはすぐに明確な答えが出ない、出せない問題が山積している』こと、その宙ぶらりんで訳のわからない現実の中で、私たちに求められるのは、『日々葛藤を抱えつつ、その心の揺らぎに耐え、性急に結論を出そうとせず、謎を謎のままに受けとめ、いつか光が射してくることを信じてチャレンジする』ということ。

先々、どんな大きな壁にぶつかることがあろうとも、お互いに、希望のリズムで歩みたい。神の業が現れることを信じて。

小麦粉 380g、ココアパウダー20g、無塩バター200g、それから……。

秋風に冷たさが混じる頃になるとアイスボックスクッキーを焼くのが大学時代からの習慣です。同じサークルの甘いもの好きの後輩が、誕生日プレゼントとして、年に4回、季節ごとにクッキーを焼いてほしいと、お願いしてきたことがそもそものきっかけです。そうはいっても社会人になれば、春夏秋冬、コンスタントに作って渡すことができる保証もありません。そこで近頃では、夏の暑い時期

は避け、キッチンに立ちやすい秋から冬の季節に、続けて何回か作って渡すようになっていきます。

今年で8年目。彼女に渡すだけでも、これまでに何十回と同じクッキーを焼いているわけですから、レシピなんて頭に入っていて、流れるような工程で作れるはずだと思いますよね。現実はどううまくいかないのです。

毎年、秋に入ってすぐの、初回のクッキー作りは、多少のぎこちなさから逃れることができません。

1回目はレシピが書かれたノートを用意して、基本の順序を思い返しながらかります。市松模様の成形など、日常であまり行いませんから、春から夏のブランクは強敵です。ブランクと私の元来の不器用さが相まって、模様がずれるのです。模様が分かるのは、後は焼くだけという、完成に近い状態の時です。クリーム色とブラウンの棒状の生地を2本ずつ交互に重ねて押し固めてから包丁を入れるため、最初の一切れの模様がずれている場合、その一本は金太郎飴さながら、すべてずれていることがわかります。これはなかなかショックなものです。

2回目に焼く時は1回目の感覚がまだ新しく残っているため、前回よりスムーズな手順で作ることができます。粉をふるうスピード、形の整い具合、焼き加減。1回目よりは、2回目。2回目よりは3回目と、何度も繰り返して焼くことで、どんどんこなれてきて、最終的には満足のいくものが出来上がります。空白期間で忘れていたものや鈍っていたものを、体がゆっくりと思い出していくわけです。その中で、こうした方がうまいくのじゃないかと、アレンジすることもあります。繰り返して行うこと、継続の大切さは、このようなクッキー作り1つにおいても顕れてきます。

みなさんはいかがでしょう。勉強や部活動、習い事、趣味などで、ブランクが与える影響や、繰り返すことの大切さを実感したことがあるのではないのでしょうか。

続けることは、上達だけでなく、自信にもつながります。好きなこと、頑張りたいことなど、みなさんが心の中で、続けたいと思ったことを大切にしてくださいね。

